

豊岡市日高地域 国府地区コミュニティビジョン



2023 年 1 月

ご挨拶

平成29年に「コミュニティこくふ」発足と同時に『コミュニティこくふはじめの第一歩計画』を策定し、それをもとにして事業に取り組んできました。その後、令和2年に豊岡市から、各地区をどのように維持活性化させていくのか、基本的な在り方が示されました。これを受けて、コミュニティこくふとしても、今後10～15年先の国府地区を考えるうえで、「国府地区コミュニティビジョン」(国府地区地域づくり計画)を策定することとし、令和4年1月に国府地区全住民に対してアンケートを実施しました。(回収率38%)そのアンケート内容を整理するため、検討委員を中心に会議を重ねてきましたが、内容があまりにも多岐にわたっており、それをまとめていくことは至難の業でした。しかし、何とか「すぐやる」「3～5年後にやる」「5年以降にやる」「いったん置いておく」の4つに分類し、それをここに提示しました。

基本的にはこの内容で取組を進めていくこととしていますが、まだ不確実な部分がありますので、検討委員等の方々の意見をお聞きし、より確かなものにしていきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

コミュニティこくふ
会長 林 秀喜

目次

1. コミュニティこくふ コミュニティビジョン策定の背景
2. 国府地区の概要
3. 国府地区の現状と資源・課題
4. 国府地区の将来像
5. 取り組む活動や事業について
6. 今後の課題について
7. 参考資料

1. コミュニティこくふ コミュニティビジョン策定の背景

コミュニティこくふは、平成 28 年 12 月 14 日に設立し、旧公民館の事業に加えて地域資源活用・地域課題解決を見据えた事業を、はじめの第一歩計画を基に実施してきました。

特に、従来の公民館活動に近い社会教育に資する事業に関しては、多くの事業やイベントを実施し、コミュニティの本来の姿である、地域内外の人々がコミュニケーションを取ることができる場を提供することができました。

一方で、国府地区内の 13 区はそれぞれ状況が異なり、地域の資源や課題の性質が違うことも分かってきました。

以上を踏まえ、今一度地域の状況を確認し、はじめの一步から次のステージに向かっていくためのコミュニティビジョンを策定することとなりました。

なお、策定にあたっては住民アンケート調査、ワークショップを以下の通り実施し、より多くの方のご意見を取り入れられるように留意しました。

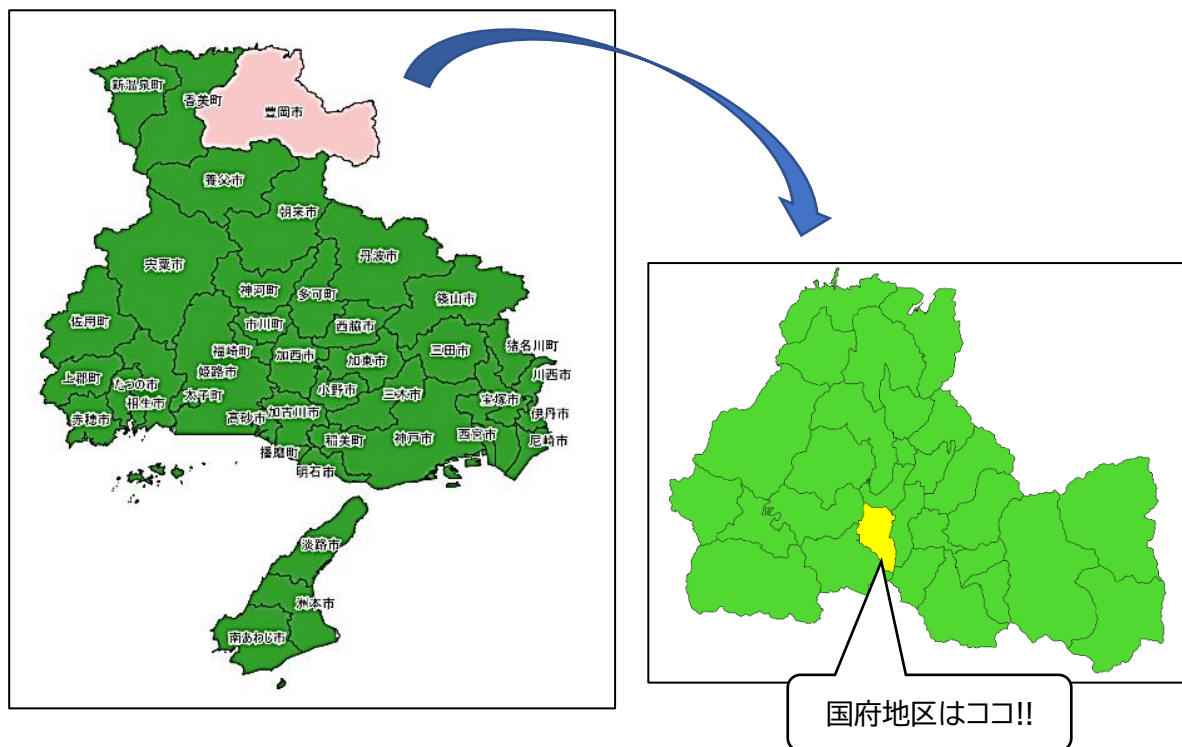
日 時	内 容
令和 2 年 8 月 28 日(金)	ビジョン策定についての役員会
令和 3 年 10 月 11 日(月)	ビジョン検討委員会
令和 3 年 12 月 6 日(月)	ビジョン検討委員会
令和 4 年 1 月 25 日(火)	全世帯アンケート実施
令和 4 年 5 月 26 日(木)	ビジョン総務委員会
令和 4 年 7 月 1 日(金)	ビジョン検討委員会
令和 4 年 9 月 1 日(木)	ビジョン検討委員会
令和 4 年 10 月 27 日(木)	ビジョン検討委員会
令和 5 年 1 月 26 日(木)	ビジョン検討委員会

2. 国府地区の概要

国府地区は、古代但馬の行政機関である国府が置かれていたと考えられていることから、この名がつけられたのではないかとされています。同地区は国府平野が広がり、米作りが盛んです。しかし、円山川と八代川が合流する北部地域は平野の内水と八代川の氾濫でたびたび水害に襲われてきました。その後、この地域に八代川の改修や排水ポンプの設置などの治水事業が進められてきましたが、まだ水害の不安はなくなっていないです。

約 25 年前に円山川沿いに治水対策の一つとして 1.5 kmの桜並木が整備されました。そこは、春は花見、そのあとはウォーキングやジョギング等で多くの人たちが訪れるなど憩いの場となっています。

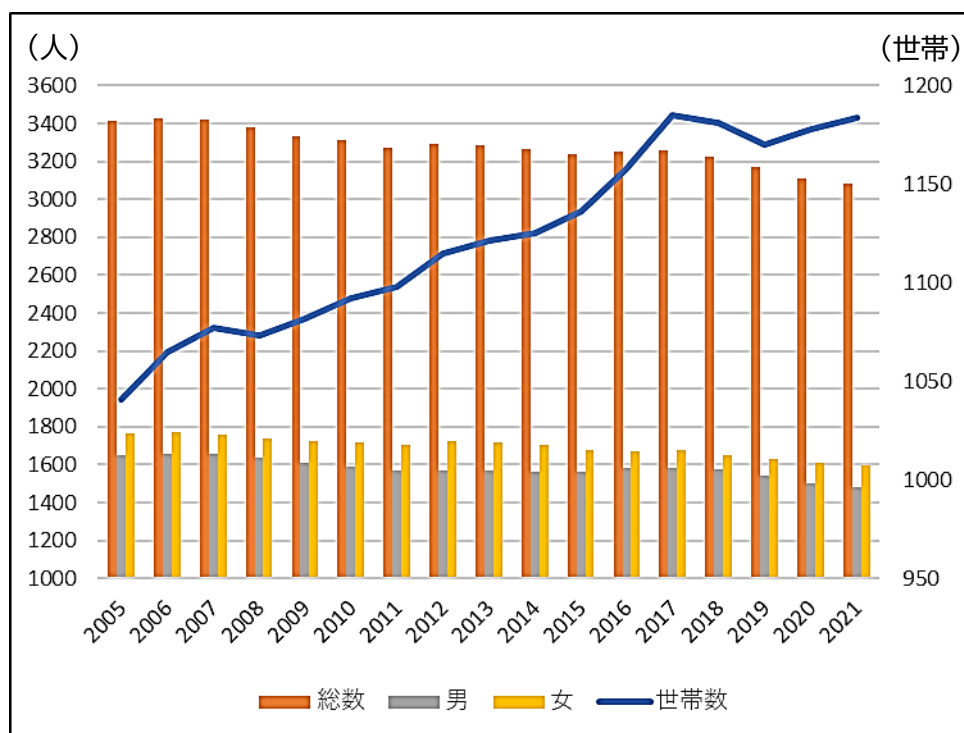
また、世界的な冒険家である植村直己さんの生誕の地として知られています。



3. 国府地区の現状と資源・課題

(1) 人口

国府地区の住民基本台帳による人口と推移は以下のとおりです。



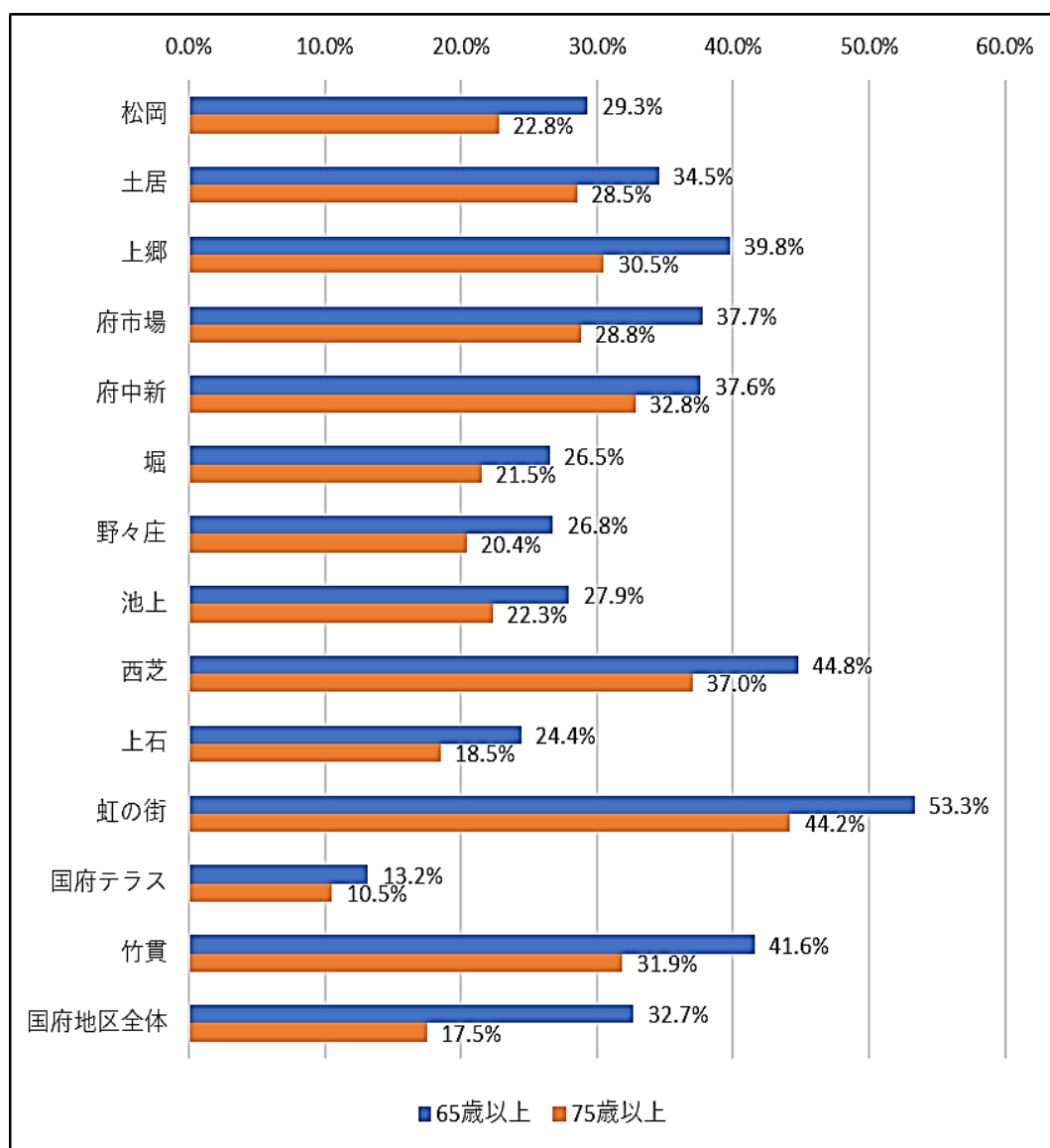
(各年4月30日基準)

国府地区としては、人口は減りつつも世帯数は増えている状況です。人口は2005年と2021年を比べると約10%減ですが、豊岡市全域では約15%減であるため、市内では比較的減少率が低い地区であることが分かります。また、2014年～2018年の辺りにおいては前年比較で増加している年もあり、市内の他地区とは異なる人口推移となっています。

一方、世帯数については、2005年と2021年を比べると約13%増加しており、豊岡市全域の約6%増と比べると2倍以上の増加率になっています。世帯が増え、人口が減少しているため、1世帯当たりの構成人数が少なくなっていることが分かります。

男女比については、2005年から女性の方が多く、男性が多くなっている年はありません。2021年の国府地区の男女比は女性を100とした場合に、男性が93.3です。総務省発表の2021年10月1日における全国の男女比は女性100:男性95.3となっているため、国府地区は全国と比べて人口の女性比が高いことが分かります。

次に、2022 年4月 30 日の住民基本台帳における国府地区内の各区の高齢化率は以下のとおりです。



国府地区全体では高齢化率は約 32.7%となっており、令和 2 年国勢調査による日本全体の高齢化率 28.6%より約4%高くなっています。

区別でみると国府テラス区が約 13.2%とかなり低く、日本全体と比べても半分以上の比率となっています。また、堀区・野々庄区・池上区・上石区も全国平均よりも低い比率となっており、若い方が多い区であることが分かります。一方で、虹の街区は約53.3%と約半数が 65 歳以上、4 割強が 75 歳以上の人口構成となっています。

上記のことから、国府地区内でも区によって大きく状況は異なり、その状況によって課題の差異がある可能性がうかがえます。

(2) 主な施設等

国府地区内には以下のとおりの主な施設等があります。

(学校施設の生徒数は R3.3 末日住民基本台帳数値、診療所・食料品店・コンビニ・警察等・郵便局・公共交通は地域調べ、その他は豊岡市オープンデータより)

主な施設					
国府地区コミュニティセンター／日高東部健康福祉センター					
認定こども園		小学校		中学校	
名称	人数	名称	人数	名称	
こくふこども園	115	府中	177	なし(日高東中学校区)	
診療所	食料品店	コンビニ	警察等	郵便局	公共交通
すず内科外科クリニック／前田クリニック／つるさこ耳鼻咽喉	マックスバリュ日高／コスモス	ミニストップ	府市場駐在所／上石駐在所	日高府中／上石簡易	JR国府駅／全但・日和山八鹿線／江原豊岡線／出石江原線
指定緊急避難所			AED設置箇所		
日高東中学校 円山川防災センター 日高地区コミュニティセンター 日高文化体育館 豊岡市役所日高庁舎 善應寺 府中小学校 国府地区コミュニティセンター			日高東部健康福祉センター総合案内(日高東デイサービスセンター)☒ 府中小学校体育館玄関 職員玄関 国府地区コミュニティセンター☒関内(階段前)		

(3) 各区の状況

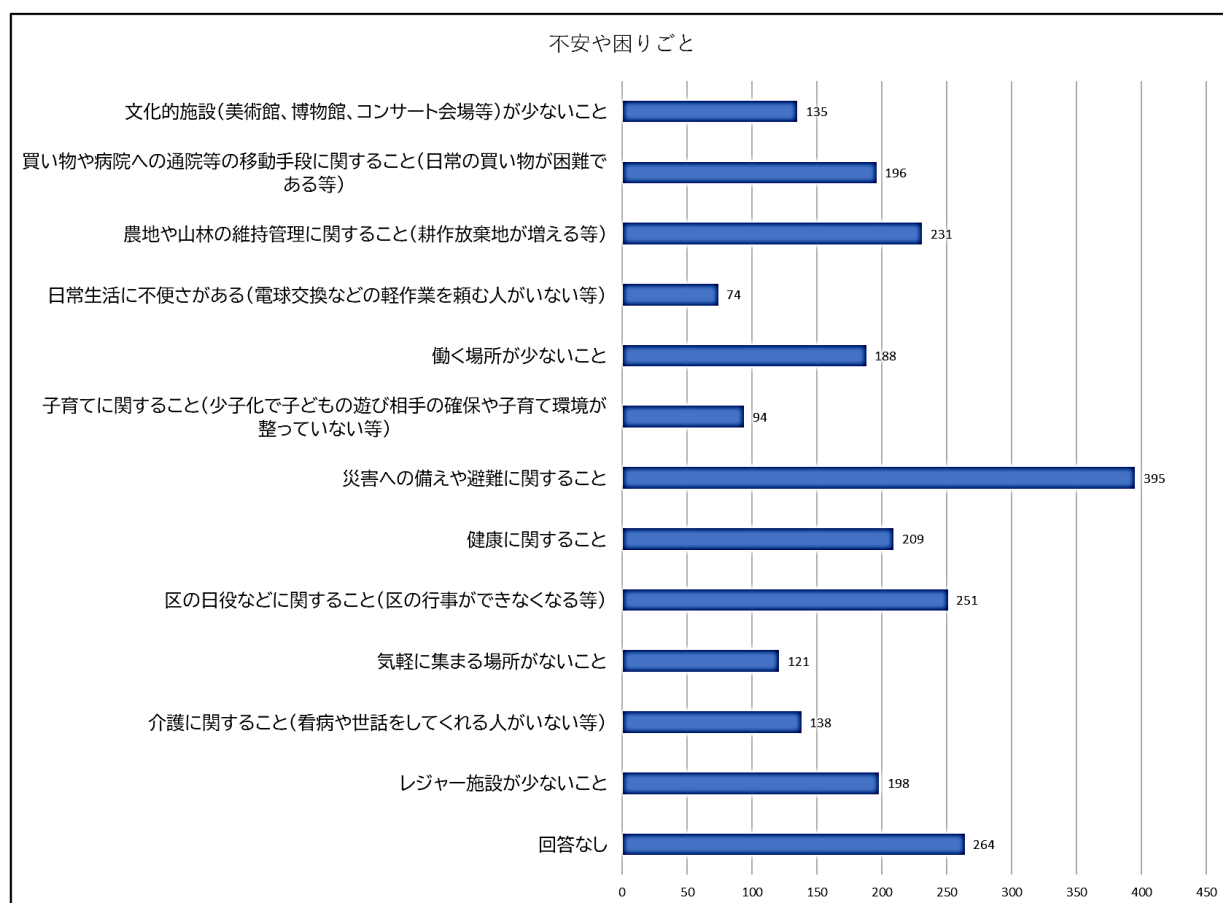
各区での活動一覧は以下のとおりです。

	自主防災組織	サロン喫茶	玄さん体操	支え合いの地域づくり活動	見守り活動
松岡	●	●	●		●
土居	●	●			●
上郷	●	●	●		●
府市場	●	●	●	●	●
府中新	●	●			●
堀	●		●		●
野々庄	●	●	●	●	●
池上	●	●		●	●
西芝	●	●			●
上石	●	●	●		●
虹の街	●	●		●	●
国府テラス	●	●		●	●
竹貫	●	●			

(4) 資源・課題

国府地区では 2022 年 1 月に全世帯アンケートを実施し、1102 件のご回答をいただきました。そのなかの国府地区の課題(困りごと:選択式・記述式)、資源(良いところ:記述式)の回答は以下のとおりです。なお、記述式回答については抜粋とし、全編は別紙としてあります。ご覧いただきたい場合は、コミュニティこくふ事務局窓口で閲覧できます。

【不安や困りごと】



宅地開発が進んでいる地区とそうでない地区の差が大きい

若者の超減少！！

上石、西芝地区が水の氾濫がネック

台風などで起こる洪水による被害を最小限にする

後期高齢者がだんだん多くなり、少子化がますます進む

体育系のイベントは要らない

運転できない人にとって交通が不便なため、受診や買い物が大変

働く場所がない、子供の遊び場公園などが無い

目新しいものも無く、魅力的なものが何一つない。子供の数が減っている
一人暮らし世帯への配慮
地域行事をなくして、若い方が住みやすい環境を作る
地域全体が平坦で人的交流がしやすく、地理的条件も良い
空き家対策
労働人口減少、少子化
円山川で地区が分断されている
みんなの仲間意識
高齢化、空き家が多い
水害にかかる防災対策
区の役員が未だに男が多い
区長など女性もできるのにやらせてもらえないことが課題
昔ながらに日役をやらなくてはいけない 土日仕事の人はい多くいます
核家族も多くいます 行事を減らし負担を減らすべきです
子どもがどんどん減っている
スポーツをする小学生が減っている
高齢者が多く、数少ない若い世代に隣保の仕事など負担が大きい
府市場区も含めて高齢化で1人暮らしの方が増えている
ポンプ停止による浸水
お店が少ない
子供たちの安全
スーパー等の商業施設の誘致。学童保育の充実
交通手段が少ない
スーパーや外食できるところが少ない
企業が少ない
歩道が少ない
農業担い手不足。限界集落化
まずは区内のコミュニケーションを高めることから
スーパーがなく高齢になったら買い物に不便になる

【国府地区の資源(良いところ)】

平野部にあり農業環境がよい
自然環境に恵まれている
静かなところ
こども園から小学校がほぼ同じ仲間で進級できるため、子ども同士が仲良く、お互いの
得手不得手も理解しあって、サポートしあっている
田畑と住宅のバランスが良い川沿いの堤防
地区全体が和気藹々としている
路線バスと特急バスの停留所がある。鉄道の駅がある
いい人が多い
地域の行事が沢山ある
円山川の流れ
田畑、山林に囲まれ、ゆったりと暮らせる
自然に恵まれている
住民の方々と話しやすい
温かい人が多い 子どもたちが遊べるふれあい公園がある
田舎すぎる田舎ではない
豊岡方面に出やすい 車を出さないといけませんがスーパー等が近くにある
交通の要所
明るい雰囲気
古い歴史を大切に伝えている
車で生活する分には、北にも南にも行きやすい
地区の人があたたかい
事件が少なく平和
アットホームなところ人数規模が丁度いい
交通の便がこの辺の中では良い方
夜は静かだと思います
景観(桜堤から見る円山川、河畔林)。市内の県下有数の密集エリアで歴史深い
近所付き合い
自然が豊かで、人間関係がよい
地区独特な伝統行事や文化財が沢山ある
通勤、買い物に便利
際立った問題がない
程よい横の繋がりがあ

4. 国府地区の将来像

国府地区では設立当初より以下の将来像を掲げ、取り組んでいます。

「みんなで支え合い

助け合いのできる

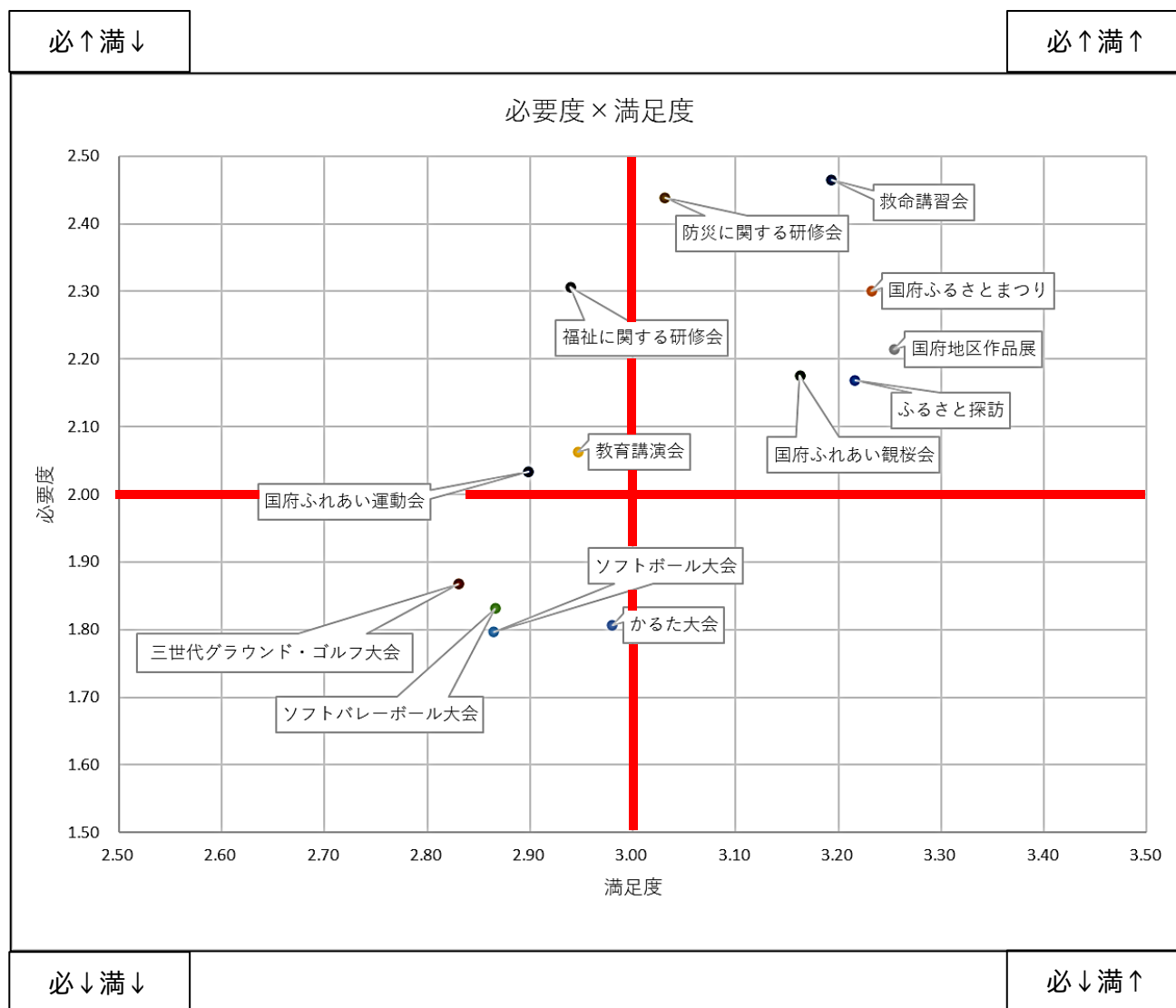
国府地区」

前章までを踏まえたうえで、この将来像に近づくことできるように次章より今後10年間の取り組みについてのロードマップを作成しました。

5. 取り組む活動や事業について

(1) 既存事業の見直し

全世帯アンケート実施時に現在行っている事業についての満足度・必要度を伺いました。その結果は以下のとおりです。



相対的に、救命救急講習会や防災に関する研修会など、防災における事業が必要度も満足度も高く、更に、ふるさとまつり・作品展・ふるさと探訪・観桜会なども同様であり、文化的活動の活発さも見受けられます。一方で、三世代グラウンド・ゴルフ大会・ソフトボール大会・ソフトバレーボール大会などの体育的活動については、必要度・満足度共に低く、今一度事業の内容を見直す必要があることが分かりました。

(2) 新規取り組みアイデア

既存事業を見直す一方で、地域資源や課題に対する新規取組アイデアの検討をワークショップで行い、以下のとおりたくさんの取組アイデアを出していただきました。

課題に対する取組アイデア	
ポンプの設置	ポンプの設置場所
安心、安全な公園の設置 遊具がたくさんある公園	堤防の強化
あいさつ運動（あいさつをしない子どももいる）	遊水地の確保
国府ふれあい公園以外に公園をつくるコミュニティセンターの近く、子どもの小さい母親が気軽に集まれる	国府平野のウォーキングが増えた
サロンの設定（区内） 子どもからお年寄りまで	八代川での魚釣りができない
子どもの遊び場の確保	車は何歳まで運転出来るか
郷土料理 伝承料理	田や畑の管理は農会が行うことができないか
家庭菜園など作りたい人に貸す	堤防を歩く 安全であり景色が良い
休耕地・放棄地に企業誘致する	大水のあとの河川敷のゴミは処分できないか
防犯カメラの増設	農業体験施設として活用
公園でのキャンプ場（ふれあい公園）	放棄地に太陽光発電の設置
あいさつをしっかりとするようにする	耕作放棄地対策 → 市民農園（無料）
体力測定day	みんなが集まって何か一つ同じ取り組みをする（例：ラジオ体操、なわとび）
祖父母に学ぶおやつ作り	子どもたちが聞いてみたい講演会の企画
福祉ネットワークの組織化（池上区は実施している）	子どもたちが企画（アイデア）するイベント
サッカーや野球、その道のプロの方を呼んで指導 子ども中心	気球体験
若い世代と高齢者の交流	ロッククライミングが出来るところ
八代川の立木の伐採	鮎のつかみ取り
円山川水系の支流の八代川の底を深く掘る	通学路に安全な遊歩道の設置
空いている畑の共同利用	安全に集まれる場所を作る（2、3地区に一カ所）
耕作放棄地対策 → GGに流用	休耕地などを公園として活用
子どもの興味あることを知る	子どもたちに外で遊ぶ遊び方の提案
子どもたちが先生になってもらう事業	外で遊ぶことだけでなく施設の中で遊ぶ方法も提案
スケートボードが出来ることろ	親子で遊んだり交流を深める
食育活動（農業体験）	親子で参加する行事 年代関係なく
耕作放棄地を花畑に	三世代交流ウォークラリー（年に1回）
大人の掘り出し物交換会	ウォークラリー（各地区を回る）ふるさと探訪＋クイズ
サロン活動の充実 老人会活動を盛んにする	子ども、若者、高齢者みんなでウォーキング（大会ではなく習慣に）
子育てサークルの再開、親子でふれあえる機会をつくる	健康クラブ（要介護にならないために）
円山川下り	フォークダンス
親子でゴミ拾い	食を通して交流できる料理教室
子どものおもちゃ、服、制服交換会（譲渡会）	趣味を通じた交流の場の拡大
趣味を通じた交流の場の拡大→おかんアート展	災害物資 譲り合い（服、タオル、毛布、日用品）
ミニコンサート ピアノ、フルート、バイオリン、地域で活動している方	気軽に参加や鑑賞ができる音楽コンサート（参加型）
堤防のかさ上げ	テーマを決め〇〇に詳しい人を招いて話を聴く
水害に対してポンプの早朝稼働させる	身体を動かし自然に親しむ
水門の閉まった連絡を地区の皆さんに連絡する	地域行事のアーカイブ・地域生物相の記録
下流域に排水ポンプを設置する	自然観察会、地域調べ、地域学習
川側の木等を切る	

資源に対する取組アイデア	
高齢者の健康づくりの促進（例：GG）	農地に恵まれている
老人クラブの活性化、増員、未設置クラブの解消	ゴミ拾いをしながらウォーキングする
高校生、中学生が参加できる行事を増やしてほしい	円山川の近くで夏の夜が少し涼しい（暑いけど）
朝市 野菜、手作りお菓子、小物	ふるさと探訪を継続して行う
国府地区で日帰り旅行を行う	耕作放棄地に花を植えるなどのイベントを行う
空き家への居住者募集	竹貫から空港への道の確保
国府の歴史を知る会 サークル化	八代川堤防の散布でしにくい
国府しゃあしゃあ音頭を毎日定時に防災無線で流す	休耕田でひまわりの植栽
親子郷土料理教室	利便性の良さ（交通、医療、スーパー）をアピールした定住運動
円山川土居からカヌーの川下り	体力測定
上郷植村直己公園裏山のハイキングコースの活用	いろんな団体との合同行事
ウォーキングを楽しめるイベント	子どもから大人まで楽しめる綱引き
国府ふるさとまつりで子ども達が運営する店	他区の方との交流事業「つくるよろこびおかんアート展」
国府かるたの普及を図る	地域内に生息している植物の観察
歴史のある土地 教えて欲しい	やりたいこと、難しくないこと、知っていることを
知らない地区が多すぎて… もっと知りたい	自由な時間 少ない
国府地区の地理的、歴史的（伝承）の学習⇒地域を知り、地域への愛着づくり	子ども主催の行事があるとよい
国府しゃあしゃあ音頭を若い世代に！	式内社の紹介
桜つつみの遊歩道（下の段）に菜の花やレンゲの花を咲かせる	伝統行事の継承
桜並木でのウォーキング	夏の盆踊り、府中小グラウンドで国府しゃあしゃあ音頭を踊る
国府ふれあい公園でのグラウンドゴルフ大会	

以上の既存事業の見直しと新規取組アイデアを基に次頁のとおり 10 年間で行うロードマップを作成しました。

ロードマップ全体像

目標姿勢	観観・資源	いつやるか				観観解決・資源活用後の姿	実施主体	備考
		すぐやる（検討する）	3～5年後にやる（検討する）	5年後以降にやる（検討する）	いったん置いておく			
国府からた ほづつみの遊歩道 子育て環境の充実 趣味を通じて交流の場が必要 親の交流が少ない 緑が多く桜も美しい。 災害の備え 住民意識の高齢化、孤立化。 新しい事、時代に合わせた取り組みへの積極性。老人、福祉対策。 隣の地区や散歩をして出会った人に挨拶しても知らない人だと返ってこない。 ふれあえるイベントが多い 将来的に一人になった時の移動手段、介護等不安 通病からの悪影響が強い。ウォーキングしやすい 地域の行事が沢山ある 地域の行事が沢山ある 趣味のサークルが多い 皆よい機が繋がりとあるところ。 歴史のある土地 地域の行事に中高生のかかわりが少ない	国府からた大会 国府ふれあい懇談会 子育てサークル「ひよこクラブ」 つくるよろこび屋 親子園土料理教室 ほづつみの遊歩道に花を咲かせる 防災に関する研修会・救命講習会 福祉部情報交換会 福祉に関する研修会 あいさつをしっかりとるようにする グラウンドゴルフ大会 体力測定 ウォーキング ソフトボール大会 国府ふれあい運動会 国府地区作品展 国府ふるさとまつり ふるさと探訪・歴史を知ら会サークル化 子ども主催の行事【e-スポーツ大会】					カルタという資源で国府の文化が学べる場がある ほづつみを楽しんでいる人が増えている 子育て中の親子が快適に国府地区内で過ごしている 趣味を通じて地域内外の交流が活発になっている 親子料理の伝承と共に世代間交流が行われている 花を中心とした地域内外の方が楽しむ場ができていく 災害への備えの心構えができていく 高齢者の方と地域とのつながりができていく 要介護になっている人が減っている あいさつを通じて地区内のコミュニケーションが取れている 運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている 健康寿命を延ばすため自身の体の状況を把握している人が増えている 景色を楽しみながら健康づくりに励んでいる人が増えている 運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている 運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている 趣味を通じて地域内の交流が活発になっている まつりを通じて地区内のコミュニケーションの場が提供できている 地区の歴史を知り伝える人が増えている 地区の中高生が気軽にコミュニティへ足を運んでいる	まちづくり部 まちづくり部 事務局 おかんアート振興委員会 親子料理愛好家チーム 花を咲かせる会 地域防災部 地域福祉部 一 人づくり体育部 人づくり体育部 人づくり体育部 人づくり体育部 人づくり体育部 人づくり文化部 人づくり文化部 （人づくり文化部） 事務局	ゲームビルディングが必要 ゲームビルディングが必要 （支援団体・サロニウム） 春闘市が実施している体力測定会を利用する。 改善策未実施のため実施
	新作数庫地が増えている		新作数庫地利用の検討 一農地共同利用・市民農園・家庭菜園したい人に貸す ひまわりの耕種、農会での田畑の管理など 新市（野菜・手作り菓子・小物）			新作数庫地が活用されている		
	親の交流が少ない		若い世代と高齢者の交流			幅広い世代の交流ができていく		
	将来的に一人になった時の移動手段、介護等不安		福祉ネットワークの組織化（池上区は実施している）			ネットワーク構築により将来への不安が少なくなっている		
	今ある行事を世代が変わっても続けられるか、3世代が楽しめる工夫		サロンの設定（区内で）子どもからお年寄りまで			幅広い世代の交流ができていく		
	不審者が入りにくい環境が必要		防犯カメラの増設			不審者による犯罪が減っている		
	地域の行事が沢山ある		ソフトバレーボール大会			運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている		
	円山川や高生平野等豊かな自然がある		松のつかみ取り			地域の自然資源を生かして地区の方が楽しんでいる		
	円山川や高生平野等豊かな自然がある		円山川で魚釣り、円山川土居からカヌーの川下り			地域の自然資源を生かして地区の方が楽しんでいる		
	スポーツをする小学生が減っている。		サッカーや野球。その道のプロの方を呼んで指導 子ども中心			地区の子どもたちがスポーツを楽しんでいる		
	子供達に活力がないように思う。		外で遊ぶことだけでなく施設の中で遊ぶ方法も提案 子どもたちに外で遊ぶ遊び方の提案			地区の子どもたちが様々な遊び方で地区内で楽しんでいる		
	大きな公園など子育て環境		公園でのキャンプ場（ふれあい公園）			地域の自然資源を生かして地区内外の方が楽しんでいる		
	遊ぶ場所や地域の人々も楽しめる場所がない		スケートボードが出来ること			地域の自然資源を生かして地区内外の方が楽しんでいる		
	自然に恵まれている（山、川、平野）		地域内に生息している植物の観察			地域の自然資源を生かして地区内外の方が楽しんでいる		
	自然に恵まれている（山、川、平野）		地域行事のアーカイブ・地域生物館の記録			地域の資源を伝えられるように記録が残っている		
	自然に恵まれている（山、川、平野）		自然観察会、地域園遊、地域学習			地域の資源を伝えられるように記録が残っている		
	子供達に活力がない		子どもたちが先生になってもらう事業			子どもたちが楽しく地域に関わっている環境がある		
	地域のつながりが薄いこと			色んな団体との合同行事		地区内の団体が協力して事業を動かしている		
	大きな公園など子育て環境			安心、安全な公園の設置 遊具がたくさんある公園、子どもの遊び場の確保		安心して子どもたちが遊べる場所がある		
	今ある行事を世代が変わっても続けられるか、3世代が楽しめる工夫			祖父母に学ぶおやつ作り		幅広い世代の交流ができていく		
	皆よい機が繋がりとある			大人の振り出し物交換会		地区内の交流ができていく		
	住民意識の高齢化、孤立化。			サロン活動の充実 老人会活動を盛んにする		高齢者の方と地域とのつながりができていく		
	ふれあいイベントが多い			フォークダンス		運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている		
	ふれあいイベントが多い			子どもから大人まで楽しめる綱引き		運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている		
	行事がたくさんある。（今はコロナで減っている）			国府地区で日帰り旅行を行う		地区内のコミュニケーションが取れている		
	子供達に活力がない			子どもたちが聞いてみたい講演会の企画		子どもたちが楽しく地域に関わっている環境がある		
	色々な事業がある			テーマを決め〇〇に詳しい人を招いて話を聴く		地域の方が楽しく地域の事業に関わっている環境がある		
	交通の便が悪い				竹富から京港への道の確保			
	交通の要所				利便性の高さ（交通、医療、スーパー）をアピールした 定住運動			
	新しい人たちが家を建てて住む代わりに高齢化により空き家が増えている				空き家への居住者募集			
	新しい人たちが家を建てて住む代わりに高齢化により空き家が増えている				円山川水系の支流の八代川の流を深く掘る			
	水害対策				堤防のかさ上げ			
	水害対策				八代川の立木の伐採、川側の木等を切る			
	水害対策				八代川堤防の敷布がしにくい			
	水害対策				排水地の確保			
	水害対策				下流域に排水ポンプを設置する			
	水害対策				水門の開きっぱなしを地区の皆さんに連絡する			
	道路の見過しが悪い所や狭い所が多い				通学路に安全な遊歩道の設置			
	子供達に活力がない				子どもの興味あることを知る			
	災害の備え				安全に集まれる場所を作る（2、3地区に一カ所）			
	住民意識の高齢化、孤立化。				老人クラブの活性化、増員、未設置クラブの解消			
	円山川に沿って、広々とした平野がある				弘球体験			
	児童のある公園がない				ロケットファイミグが出来るところ			
	円山川や高生平野等豊かな自然がある				土蔵村前山公園裏山のハイキングコースの活用			
	区内のコミュニケーションを高める				高校生、中学生が参加できる行事を増やしてはしい			
	農園の中でも比較的人口減少が将来的にも少なく保有農、小学校の統合もない				教育講演			

実施体制についても今後検討をしていく

（前中PTAに併任している現状）

ロードマップ抜粋 ～すぐやる・検討する事業(内容)～

目指す姿	課題・資源	すぐやる・検討する事業（内容）	課題解決・資源活用後の姿	実施主体	備考
みんな で 支 え 合 い 助 け 合 い の で き る 国 府 地 区	国府かるた	国府かるた大会	カルタという資源で国府の文化が学べる環境がある	まちづくり部	
	桜つつみの遊歩道	国府ふれあい観桜会	桜つつみを楽しんでいる人が増えている	まちづくり部	
	子育て環境の充実	子育てサークル「ひよこクラブ」	子育て中の親子が快適に国府地区内で過ごしている	事務局	
	趣味を通じた交流の場が必要	つくるよろこび展	趣味を通じて地域内外の交流が活発になっている	つくるよろこび展実行委員会	
	縦の交流が少ない	親子郷土料理教室	郷土料理の伝承と共に世代間交流が行われている	郷土料理愛好家チーム	チームビルディングが必要
	緑が多く桜堤も美しい	桜つつみの遊歩道に花を咲かせる	花を中心とした地域内外の方が楽しむ場ができている	花を咲かせる会	チームビルディングが必要
	災害の備え	防災に関する研修会・救命講習会	災害への備えの心構えができている	地域防災部	
	独居者の高齢化、孤立化	福祉部情報交換会	独居老人の方と地域とのつながりができている	地域福祉部	
	新しい事、時代に合わせた取り組みへの積極性。老人、福祉対策	福祉に関する研修会	要介護になっている人が減っている	地域福祉部	要介護にならないためのリーダー研修会を開催（玄さん体操・サロン責任者）
	隣の地区や散歩をして出会った人に挨拶しても知らない人だと返ってこない	あいさつをしっかりとるようにする	あいさつを通じて地区内のコミュニケーションが取れている	—	全体実施
	ふれあえるイベントが多い	グラウンドゴルフ大会	運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている	人づくり体育部	
	将来的に一人になった時の移動手段、介護等不安	体力測定	健康寿命を延ばすため自身の体の状況を把握している人が増えている	人づくり体育部	豊岡市が実施している体力測定会を利用する
	堤防からの景観が良い、ウォーキングしやすい	ウォーキング	景色を楽しみながら健康づくりに励んでいる人が増えている	人づくり体育部	
	地域の行事が沢山ある	ソフトボール大会	運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている	人づくり体育部	
	地域の行事が沢山ある	国府ふれあい運動会	運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている	人づくり体育部	改良版未実施のため実施
国府地区	趣味のサークルが多い	国府地区作品展	趣味を通じて地域内の交流が活発になっている	人づくり文化部	
	程よい横の繋がりがあるところ	国府ふるさとまつり	まつりを通じて地区内のコミュニケーションの場が提供できている	人づくり文化部	ミニコンサート実施や国府しゃあしゃあ音頭の普及、子どものおもちゃ等譲渡会も担う
	歴史のある土地	ふるさと探訪・歴史を知る会サークル化	地区の歴史を知り伝える人が増えている	（人づくり文化部）	ふるさと探訪を土台としてサークル化を目指す
	地域の行事に中高生のかかわりが少ない	子ども主催の行事【e-スポーツ大会】	地区の中高生が気軽にコミュニティへ足を運んでいる	事務局	

ロードマップ抜粋 ～3年後以降に検討・実施する事業(内容)～

目指す姿	課題・資源	いつやるか			課題解決・資源活用後の姿	実施主体	備考		
		3～5年後にやる（検討する）	5年後以降にやる（検討する）	いったん置いておく					
みんなで支え合い助け合えるのできる	耕作放棄地が増えている	耕作放棄地利用の検討 →農地共同利用・市民農園・家庭菜園したい人に貸す ひまわりの植栽、農会での田畑の管理など 朝市（野菜・手作り菓子・小物）			耕作放棄地が活用されている		実施体制についても今後検討をしていく		
	縦の交流が少ない	若い世代と高齢者の交流			幅広い世代の交流ができています				
	将来的に一人になった時の移動手段、介護等不安	福祉ネットワークの組織化（池上区は実施している）			ネットワーク構築により将来への不安が少なくなっている				
	今ある行事を世代が変わっても続けられるか、3世代が楽しめる工夫	サロンの設定（区内で）子どもからお年寄りまで			幅広い世代の交流ができています				
	不審者が入りにくい環境が必要	防犯カメラの増設			不審者による犯罪が減っている				
	地域の行事が沢山ある	ソフトバレーボール大会			運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている				
	円山川や高生平野等豊かな自然がある	鮎のつかみ取り			地域の自然資源を生かして地区の方が楽しんでいる				
	円山川や高生平野等豊かな自然がある	円山川で魚釣り、円山川土居からカヌーの川下り			地域の自然資源を生かして地区の方が楽しんでいる				
	スポーツをする小学生が減っている。	サッカーや野球、その道のプロの方を呼んで指導 子ども中心			地区の子どもたちがスポーツを楽しんでいる				
	子供達に活力がないように思う。	外で遊ぶことだけでなく施設の中で遊ぶ方法も提案 子どもたちに外で遊ぶ遊び方の提案			地区の子どもたちが様々な遊び方で地区内で楽しんでいる				
	大きな公園など子育て環境	公園でのキャンプ場（ふれあい公園）			地域の自然資源を生かして地区内外の方が楽しんでいる				
	遊ぶ場所や地域の人も楽しめる場所がない	スケートボードが出来ることろ			地域の自然資源を生かして地区内外の方が楽しんでいる				
	自然に恵まれている（山、川、平野）	地域内に生息している植物の観察			地域の自然資源を生かして地区内外の方が楽しんでいる				
	自然に恵まれている（山、川、平野）	地域行事のアーカイブ・地域生物相の記録			地域の資源を伝えられるように記録が残っている				
	自然に恵まれている（山、川、平野）	自然観察会、地域調べ、地域学習			地域の資源を伝えられるように記録が残っている				
	子供達に活力がない	子どもたちが先生になってもらう事業			子どもたちが楽しく地域に関わっている環境がある				
	地域のつながりが薄いこと		色んな団体との合同行事		地区内の団体が協力して事業を動かしている				
	国府地区	大きな公園など子育て環境		安心、安全な公園の設置 遊具がたくさんある公園、子どもの遊び場の確保		安心して子どもたちが遊べる場所がある			
		今ある行事を世代が変わっても続けられるか、3世代が楽しめる工夫		祖父母に学ばせおやつ作り		幅広い世代の交流ができています			
		程よい横の繋がりがある		大人の振り出し物交換会		地区内の交流ができています			
独居者の高齢化、孤立化。			サロン活動の充実 老人会活動を盛んにする		独居老人の方と地域とのつながりができています				
ふれあいイベントが多い			フォークダンス		運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている				
ふれあいイベントが多い			子どもから大人まで楽しめる綱引き		運動を通じて地区内のコミュニケーションが取れている				
行事がたくさんある。（今はコロナで難しいが）			国府地区で日帰り旅行を行う		地区内のコミュニケーションが取れている				
子供達に活力がない			子どもたちが聞いてみたい講演会の企画		子どもたちが楽しく地域に関わっている環境がある				
色々な事業がある			テーマを決め〇〇に詳しい人を招いて話を聴く		地域の方が楽しく地域の事業に関わっている環境がある				
交通の便が悪い				竹貫から空港への道の確保					
交通の要所				利便性の良さ（交通、医療、スーパー）をアピールした定住運動					
新しい人たちが家を建てて住む代わりに高齢化により空き家が増えている				空き家への居住者募集					
新しい人たちが家を建てて住む代わりに高齢化により空き家が増えている				円山川水系の支流の八代川の底を深く掘る					
水害対策				堤防のかさ上げ					
水害対策				八代川の立木の伐採、川側の木等を切る					
水害対策				八代川堤防の散石がしにくい					
水害対策				避水地の確保					
水害対策				下流域に排水ポンプを設置する					
水害対策				水門の開まった連絡を地区の皆さんに連絡する					
道路の見通しが悪い所や狭い所が多い				通学路に安全な歩道の設置					
子供達に活力がない			子どもの興味あることを知る						
災害の備え			安全に集まれる場所を作る（2、3地区に一カ所）						
独居者の高齢化、孤立化。			老人クラブの活性化、増員、未設置クラブの解消						
円山川に沿って、広々した平野がある			気球体験						
遊具のある公園がない			ロッククライミングが出来ることろ						
円山川や高生平野等豊かな自然がある			上郷植村直己公園裏山のハイキングコースの活用						
区内のコミュニケーションを高める			高校生、中学生が参加できる行事を増やしてほしい						
農園の中でも比較的人口減少が将来的にも少なく保育園、小学校の統合もない			教育講演			（府中PTAに一任している現状）			

6. 今後の課題について

今回のコミュニティビジョン策定では、来年度から新しく実施する事業・アイデアについてはワークショップ内で事業計画書案(別添資料参照)まで作成し、実施ができる方法がある程度検討してきましたが、3年後以降実施を考えている事業・アイデアについては、特に実施体制の部分において今後さらに検討が必要です。地区の方が無理なく、かつ地域資源を活かしながら地域課題を少しでも解決へとつなげられるように、今後も引き続き他事例なども参考にしながら調査・研究を重ねていきます。

また、今回のコミュニティビジョン策定と同時に、兵庫県立大学や甲南女子大学と協働で「創作活動による多世代コミュニティを活用した子育て支援事業(ロードマップ内ではつくるよろこび展・子育てサークル「ひよこクラブ」)」を兵庫県のプログラムを活用しながら実施し、国府地区にお住まいではない方との接点も少しずつ構築することができました。このような地区内外の人とのつながりをさらに大きくしていき、国府地区の応援団、すなわち関係人口を増やしていくことも今後の課題です。

今後も豊岡市の示しているコミュニティビジョン「誰もが安心して幸せに暮らし続けられる地域」を目指して、『コミュニティこくふ』らしく活動を進めてまいります。

7. 参考資料

(1) ワークショップでの来年度の事業計画書案

事業名	つくるよろこび展
目 的	趣味を通じた交流の場の拡大(つながり作り) 子育て世代の地域への参画 地域活性化の働きかけ
実施主体	実行委員会組織 兵庫県立大学、甲南女子大学、神戸でおかんアート制作で活動されている方々
内 容	「つくるよろこび」国府おかんアート&ハンドメイド展 With 神戸おかんアート展 (来年度は名称変更予定) おかん？ ・自分たちの作る想いが伝わるような作品展へ ・作り手の発掘 ・若い方々に関わってもらう ・手芸に特化したのだけど、来年度からは作品の幅を広げる方法を考える ・男性の方にも出展してもらう ・ワークショップの周知 ・展示方法(ロビーや 2 階にも)
日時	6 月～8 月の間で 3 日間程度
開催場所	多目的ホール
予 算	県の補助事業
備 考	

事業名	親子料理教室 親子郷土料理教室
目 的	食を通して国府を知り交流を行う
実施主体	郷土料理愛好家チーム
内 容	・国府で栽培した食材を使い、古くから伝わる料理を楽しむ (例) 丹後のばら寿司 大鍋いも煮 ムカゴ、銀杏、ごはん
開催日時	春(ゴールデンウィーク頃) 秋(ふるさとまつり同時開催等 11 月)
開催場所	国府コミセン及び同周辺屋外
予 算	@300×100 人=30,000(材料代の一部として) *参加費 材料提供は別
備 考	

事業名	桜つつみの遊歩道に花を咲かせる
目 的	遊歩道に桜以外の花も咲かせることで、常に国府に来る方が楽しめる場所を作る
実施主体	「花を咲かせる会」(仮称)を別に組織する
内 容	レンゲを中段に植える ・とりあえず 300~500m ・順次増やしていく(3 年間程度で)
開催日時	
開催場所	
予 算	
備 考	来年秋に種をまく

事業名	子どものおもちゃ等譲渡会
目 的	子育て世代がコミュニティセンターに集う機会にする
実施主体	ふるさとまつりのコーナーを設ける場合 ひとづくり文化部
内 容	自宅で不要になったおもちゃ、小さくなった服など持ち寄り、必要な方が持ち帰る(物々交換) 子供向けのおもちゃ、本に限定し持ってくる期間を設け、持ち寄った品数分の交換券を渡す…交換券で他の物品を持ち帰ることが出来る。ただし、持ち寄れない人のためにコミュニティだよりに交換券を付けて、1品は持ち帰られるような仕組み。交換券がいない人は譲渡も可。 注:持ち寄っていただいた物が万一残った場合、処分(寄付)することを了解いただく。 いずれは制服など希望があれば品目を増やし、長く続けられるように
開催日時	ふるさとまつりのコーナーとして
開催場所	ふるさとまつりの日程
予 算	
備 考	告知方法 コミュニティだより、こども園、小学校の保護者へ文書

事業名	子ども主催の行事《e スポーツ大会》
目 的	地域の事業に関わりが減ってきた中高生が参加しやすく、運動が苦手な子どもさんも参加しやすい事業
実施主体	コミュニティと PTA も協賛
内 容	対象 小中高生 ・学年別にゲーム機(スイッチなど)を使った対戦ゲーム ・トーナメント方式 ・画面をスクリーンで映し応援する ※夏休みのときに組み込んでみる
開催日時	
開催場所	
予 算	
備 考	子どもさんがやりたいゲームの企画、運営が出来れば一番良いかたち

事業名	健康クラブ
目 的	要介護にならないために健康づくりを行う
実施主体	地域福祉部 ・玄さん体操 サロンの世話役を対象 ・区長(区の役員) ・老人クラブ会長(役員)
内 容	・リーダー研修(講習)会を開催(玄さん体操、サロンの責任者) 体 ー体操 レクリエーション 指遊び 頭 ー脳トレ(数ドク・クロスワードパズル) 研修内容 口(食)ー声を出す、よくかみ食べる、のみこむ 口を動かす ◎リーダーが各区に持ち帰り指導し広める 行政から講師を招へい 資料を用意してもらう <u>※福祉部研修会の1コマとして実施してみる</u> <u>→玄さん・サロンの方にお越しいただく</u>
開催日時	・年度始めが理想
開催場所	・国府地区コミュニティセンター
予 算	
備 考	

事業名	体力測定 Day
目 的	自分の体力年齢を知る
実施主体	体育部
内 容	市の「体力測定会」に便乗 コミュニティがPR 協力 コミュニティの行事と一緒に開催(観桜会)
開催日時	
開催場所	
予 算	
備 考	できれば1年後 すぐには出来ない

事業名	みんなでウォーキング！
目 的	・歩く習慣付けを行う
実施主体	1 回目 観桜会実行委員会＋体育部 2 回目 体育部(子ども参加の場合は育成会も協力)
内 形	・年に 2 回程度 1 回目は春 観桜会とタイアップ 観桜会実行委員会(桜提管理会) (体育部)(講習をかね実施) <u>桜提コース</u> 2 回目は秋 みんなで健康ウォーク ウォーキングコースを設定(ウ ォーキングマップ)ウォーキングカード(参加するたび スタンプ) 体育部 講師招へい 参加賞を出す 歩き方ポイント ウォーキング消費エネルギー
開催日時	春 4 月頃 秋 11 月頃
開催場所	
予 算	◎ イベント的に行うと予算がかかる ◎ レクリエーション保険
備 考	

事業名	国府の歴史を知る会 サークル化にむけて 国府地区の地理的、歴史的(伝承)の学習
目 的	国府の歴史を語れる後継者育成 地域を知り、地域への愛着づくり
実施主体	興味のある人を募集し、その人たちによってサークル化を図る
内 容	・「ふるさと探訪」を土台とした事業とする ・毎月たよりに地区の伝承事項を順次掲載していく(別紙で)原稿は 上坂晴生氏に依頼する ・「国府ものがたり」という本をデジタル化する ・将来的に小・中学生に国府地区のことを教えていく
開催日時	
開催場所	
予 算	
備 考	サークル化に向けて興味のある人たちに募集をかける(来年)

事業名	ミニコンサート(ピアノ、フルート、バイオリン、地域で活動している方)気軽に参加や鑑賞ができる音楽コンサート
目 的	地域で活動している方の発表の場を作る
実施主体	文化部
内 容	30 分～40 分程度の演奏会(1 チームか 2 チーム)
開催日時	ふるさとまつりに便乗
開催場所	
予 算	チームによるが 1 グループ 1 万円程度
備 考	できても来年かな

事業名	グラウンド・ゴルフ大会
目 的	子、親、祖父母の三世代がグラウンド・ゴルフをすることによって、お互いのつながりを深め、共に助け合う絆づくりをめざす。
実施主体	人づくり体育部
内 容	各地区1チーム(6人)とし、可能な限り、小中学生世代、親世代、祖父母世代の三世代で組む。(各世代の人数は問わない) 各世代について血縁等は問わない。 やむを得ず三世代で組めなかったり、6人に満たない場合も参加 OK 成績は親・孫世代の 1～3 位、全体の 1～5 位、飛び賞、BB 賞 ホールインワン賞 ルールについて検討する(三世代交流 G.G 対応) 子供用ルールを作る
開催日時	10 月下旬
開催場所	国府ふれあい公園
予 算	約 4 万円(@500×6×13=3.9 万円)
備 考	こくふふれあいグラウンド・ゴルフ大会

事業名	ソフトボール・ソフトバレーボール大会
目 的	スポーツを通して親睦を深める
実施主体	人づくり体育部
内 容	【ソフトバレーボール】⇒置いておく やり始めた頃はほとんどが初心者であった。区によって上手下手の差が大きくなり、やれる人がやっている大会(毎年決まった人が勝っている)大会になってきた。コミュニティの主旨と離れているのではないか。同じするなら皆が楽しめる競技がいいのではないか。 ルールが簡単、レクリエーション的な方がコミュニティとしては向いている(ポッチャ モルック ドッチボール)年代問わず楽しめる バレーを他の競技に変えたらいい→一定の役割は終えた やったことない人は一歩下がってしまう ソフトバレーボールチームが有る区は活躍の場がなくなるのは残念 室内競技なのでコロナ禍での運営に難しさも有り 【ソフトボール】⇒来年度も実施 屋外での競技 ソフトボール経験者だけではなくいろんな方も参加していた。コロナ禍もあり今年は 4 チームだったが来年は良い方向に行くのではないか。体育部員からの積極的な声かけ、他地区との合同チーム、ルール改正、ハードルを下げるのはどうか
開催日時	
開催場所	
予 算	
備 考	【ソフトボール】 地区別対抗トーナメント制 他地区との合同チーム OK 各年 ソフトバレーボール大会と交互に実施 【ソフトバレーボール】 4 人制 1 チーム 10 名以内 男女混合チーム 他地区との合同チーム OK 試合には女子 2 名以上出場していること 予選 リーグ戦方式 決勝 トーナメント方式 各年 ソフトボール大会と交互に実施